

## 総合内科 後期臨床研修プログラム

### 1. 一般目標

内科全般の生涯にわたる全人的医療を実践していくために必要な能力（診療態度・知識・技能）を習得する。問診と診察所見を重視し、内科学に則った合理的かつ総合的な診療を行う。

### 2. 行動目標

- 1) 初期研修で培った基本的臨床能力を実践し、それをさらに発展させる。
- 2) 鑑別疾患を意識した病歴聴取と身体診察・臨床検査を行い、得られた情報から診療計画を立て、その結果を評価できる。
- 3) 患者様の社会的背景をも考慮した診療を行い、良好な患者医師関係を構築できる。
- 4) 内科外来における初診および継続外来を単独で行える。
- 5) 救急外来における内科救急疾患の重症度評価と初期対応を単独で行える。
- 6) 病棟における内科入院患者の診療が責任をもって行える。
- 7) 医療機器を用いた内科系診断手技および各種体腔穿刺ができる。
- 8) 他科から内科へのコンサルテーションに適切に対応できる。
- 9) 病棟および救急外来において初期研修医やコメディカルの指導ができる。
- 10) 診療計画を立てる上で指導医や各専門臨床科と適切に連携できる。
- 11) 適切な診断を下した後、必要に応じて各専門臨床科への引継ぎが行える。
- 12) EBMに基づいた検査や治療の適応を考えることができる。
- 13) 医療費や保険制度を意識した適正な診療活動を実践できる。
- 14)カンファレンスやCPCで適切な症例提示ができる。

### 3. 研修期間

原則3年間

### 4. 取得可能な資格

日本内科学会内科認定医・専門医の取得を目指す。

### 5. 研修内容

1年次：興味ある関連領域から3-4科（救急3ヶ月は必須）を選択

2-3年次：総合内科にて救急を含む外来診療・入院病棟診療・初期研修医の指導

### 6. 研修責任者

鎌田智彦、松本健志、金井信恭

### 7. 評価方法・

研修記録（経験症例、症例発表、講義など）と目標に対する具体的な評価表などをもとに研修態度と目標到達レベルを評価する。

### 8. プログラム終了の認定

責任者と研修医の面談の上、認定を行う